

岩手県感染症週報

平成14年第30週（7月22日～7月28日）

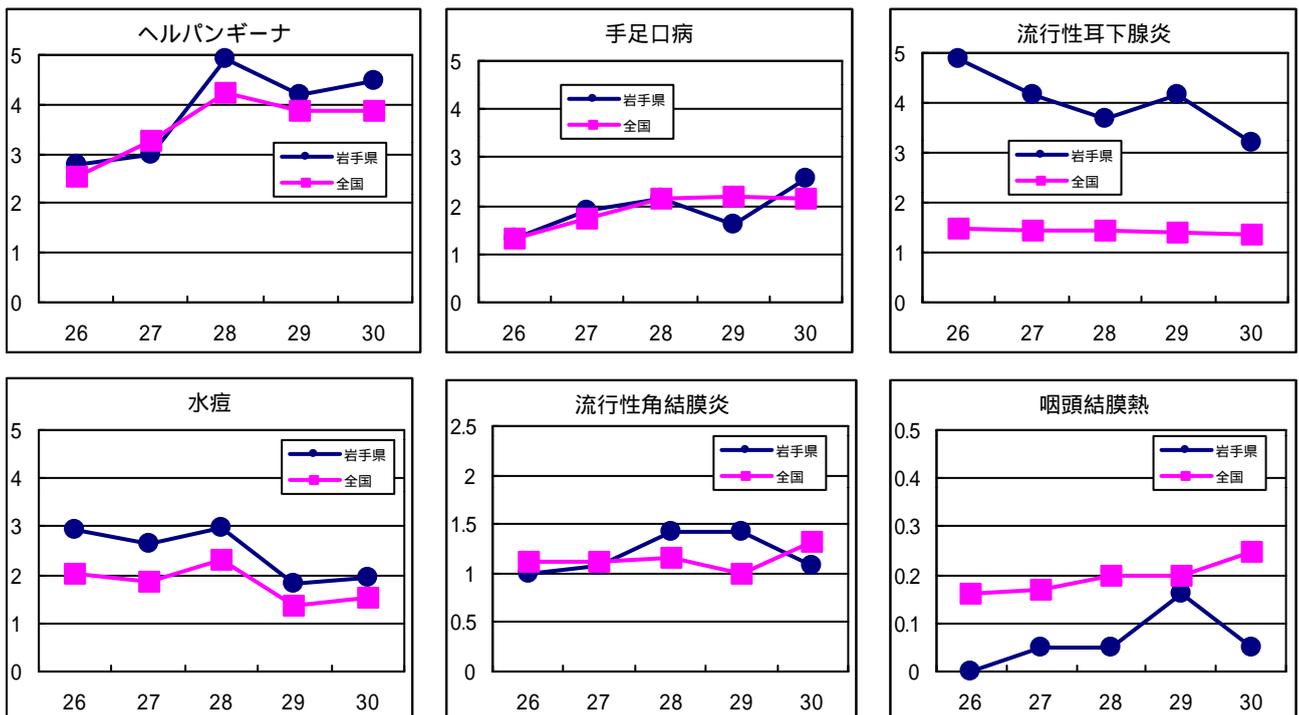
岩手県結核 感染症情報センター

第30週の概要

- | | |
|---|---|
| <p>1 類感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者発生の報告はありませんでした。 <p>2 類感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者発生の報告はありませんでした。 <p>3 類感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛岡地区から腸管出血性大腸菌感染症の報告が4例ありました。腸管出血性大腸菌026が2例、 | <p>0115が1例、0157が1例検出されています。</p> <p>4 類感染症（全数把握対象疾患）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛岡地区から梅毒の報告が1例ありました。 ・水沢地区からクロイツフェルト・ヤコブ病の報告が1例ありました。患者は60代の男性で、弧発性の発症です。 <p>4 類感染症（定点把握対象疾患）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前週に流行のピークを越えたかに見えたヘルパンギーナが再び増加しました。1ヶ月以上流行が続いている北上地区では、定点当たり患者数が15.0とさらに増加しています。 ・手足口病は久慈地区で定点当たり患者数が、前週の1.0から今週は12.0と急激に増加しました。患者数の多かった北上地区では減少傾向にあります。盛岡、花巻地区では増加しています。 ・流行性耳下腺炎は減少しました。これまで特に患者数の多かった北上、一関、二戸地区でも減少傾向にあります。依然として流行は続いており、引き続き注意が必要です。 ・水痘は水沢地区で定点当たり患者数が6.5と流行が続いています。 |
|---|---|

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		26	27	28	29	30	
インフルエンザ	岩手県	0.6	0.48	0.24	0.08	0.11	→
	全国	0.07	0.05	0.04	0.03	0.02	
咽頭結膜熱	岩手県	0	0.05	0.05	0.16	0.05	↘
	全国	0.16	0.17	0.2	0.2	0.25	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.58	0.5	0.55	0.63	0.53	→
	全国	1.31	1.19	0.95	0.76	0.62	
感染性胃腸炎	岩手県	2.68	1.45	1.47	1.26	0.87	↘
	全国	3.72	3.58	3.22	2.61	2.52	
水痘	岩手県	2.95	2.66	2.97	1.82	1.95	→
	全国	2.02	1.84	2.31	1.37	1.54	
手足口病	岩手県	1.32	1.89	2.13	1.61	2.55	↗
	全国	1.34	1.73	2.13	2.17	2.14	
伝染性紅斑	岩手県	0.16	0.05	0.13	0.11	0.03	→
	全国	0.59	0.85	0.62	0.47	0.39	
突発性発疹	岩手県	0.71	0.63	0.61	0.61	0.61	→
	全国	0.86	0.86	0.88	0.84	0.87	
百日咳	岩手県	0.03	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.03	0.03	0.03	0.02	0.01	
ヘルパンギーナ	岩手県	2.79	3	4.92	4.21	4.47	↗
	全国	2.56	3.26	4.25	3.88	3.89	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.03	0.03	0	0	0.03	→
	全国	0.1	0.09	0.1	0.08	0.09	
流行性耳下腺炎	岩手県	4.87	4.16	3.68	4.18	3.21	↘
	全国	1.49	1.43	1.45	1.41	1.34	
急性出血性結膜炎	岩手県	0.08	0.08	0	0	0	→
	全国	0.03	0.03	0.02	0.02	0.03	
流行性角結膜炎	岩手県	1	1.08	1.42	1.42	1.08	↘
	全国	1.11	1.12	1.15	1	1.32	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0.01	0.01	0.01	0.02	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0.05	→
	全国	0.36	0.3	0.36	0.49	0.5	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.2	0.2	0.15	0.15	0.05	↘
	全国	0.13	0.13	0.13	0.14	0.13	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.04	0.03	0.01	0.02	0.01	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 26	27	28	29	30	累計	30	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	5	22
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	8	438
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	36
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	22
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	12	8	4	4	36	117	1379
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	4	254
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	5
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	43
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	7	6	640
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	33
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	104
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	1	4	3	74
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	57
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	2	9	484
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	66
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	5
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	6	0	112
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	29
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	7
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	1	1	2	7	313
	破傷風	0	0	0	0	0	0	2	50
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	23
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	48
ライム病	0	0	0	0	0	0	1	7	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	3	58	

今注目の感染症

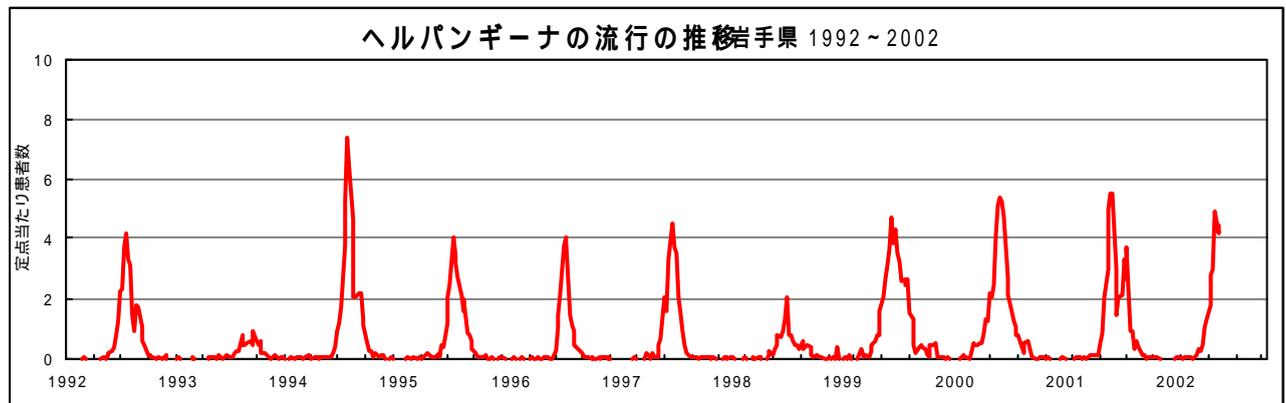
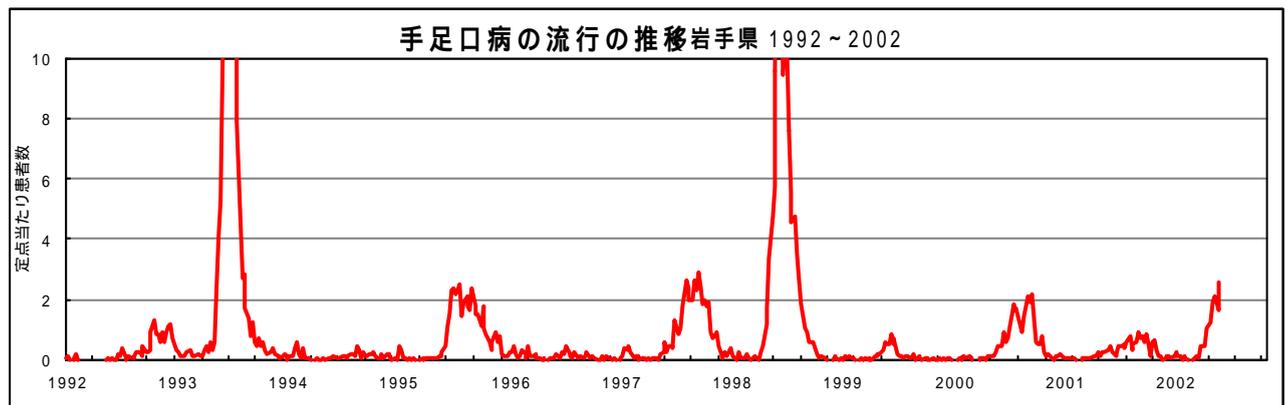
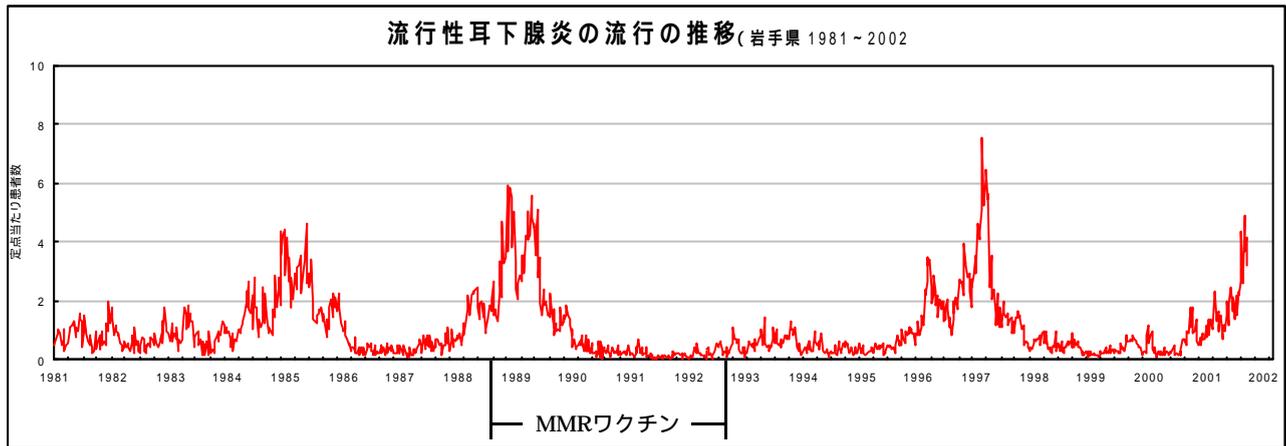
流行性耳下腺炎、手足口病、ヘルパンギーナ

現在流行中または患者増加中の3疾患のこれまでの流行の推移を下図に示しました。

流行性耳下腺炎は4～5年の周期で流行を繰り返し、本年はその流行期にあるようです。

手足口病は3～5年の周期で大きな流行があります。

ヘルパンギーナは毎年夏に流行のピークがあります。



病原体検出情報

第24週に採取した流行性角結膜炎の患者から採取した結膜ぬぐい液から、アデノウイルス37型を1例検出しました。

集団感染情報

7月17日に、大船渡保健所管内の医療機関から、北里大学水産学部の男子学生1名（20歳代）が腸管出血性大腸菌感染症（O26）に罹患している旨の届出がありました。

これまで、同保健所が実施した検便により、初発の患者を含め23名が感染していることがわかりました。

同保健所では、次のとおり感染の原因や感染経路について調査を実施しましたが、その特定には至っていません。

- （1）7月17日に届出のあった初発の患者及びその友人の感染者について、その喫食状況調査、飲料水の検査を実施したが、感染の原因となるものは見受けられなかった。
- （2）当該大学の学生等の検便を実施した結果、23名の学生、職員の感染が明らかとなったことから、次のとおり調査を実施した。
 - ア 感染した学生及び職員に対する聞き取り調査において、大学以外での生活等における共通点は見受けられず、また、地域の一般住民から感染者が発生していないことから、大学における感染が強く疑われた。
 - イ このことから、大学内にある食堂について、従事者の検便及び施設のふき取り検査を実施したが、腸管出血性大腸菌（O26）は検出されなかった。
 - ウ また、大学において使用している飲料水等は、学校事業所等水道であることから、その原水、浄水施設の底泥等、さらには実験用製氷器の氷を検査したが、腸管出血性大腸菌（O26）は検出されなかった。

医療機関からの情報

医療機関で患者さんを診療している先生方からの情報をお待ちしております。

医療現場の生の声をぜひお聞かせください。

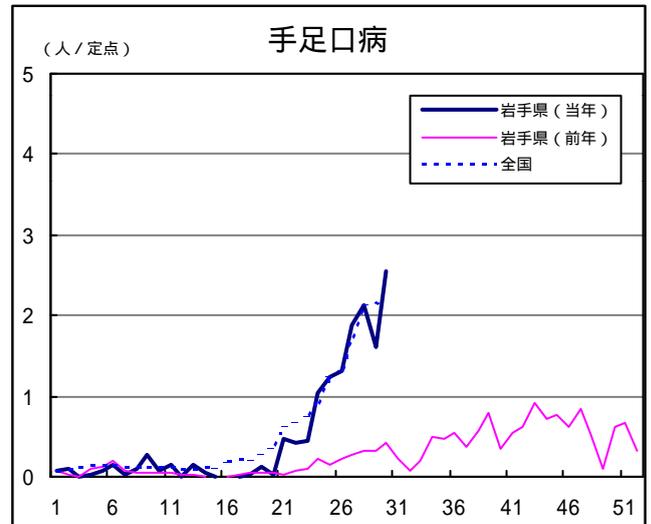
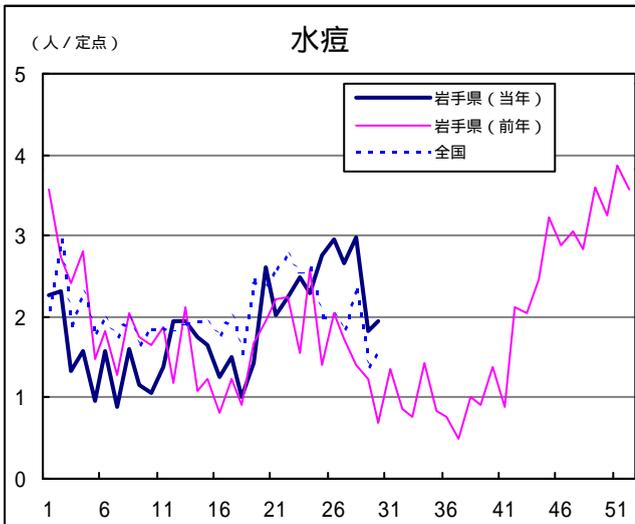
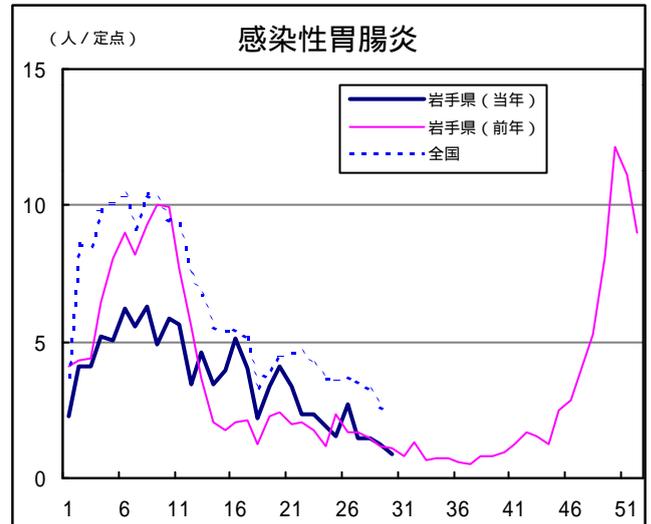
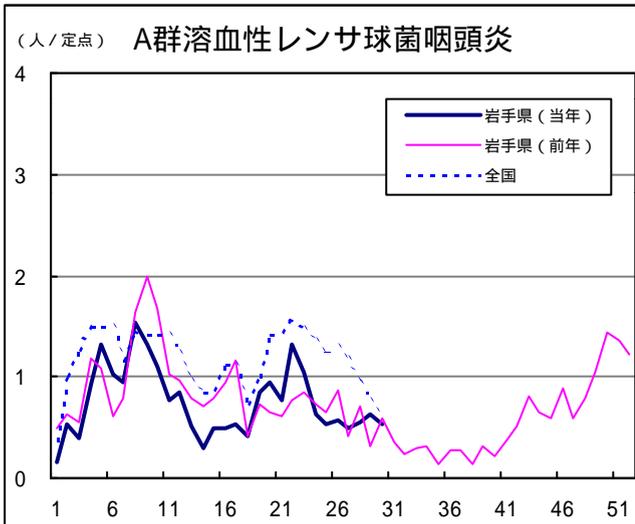
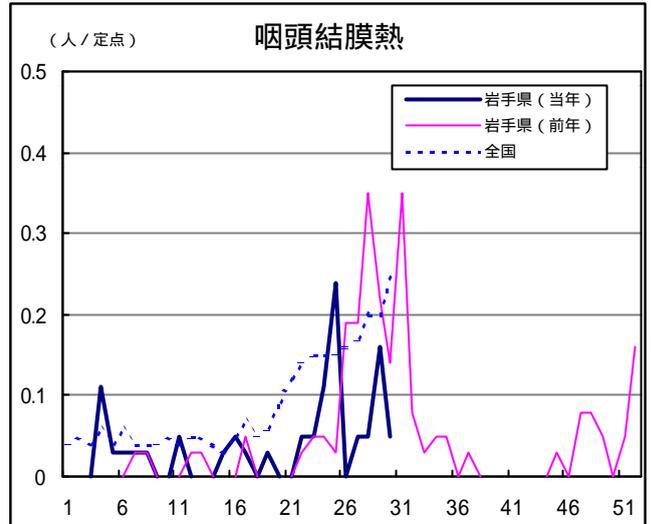
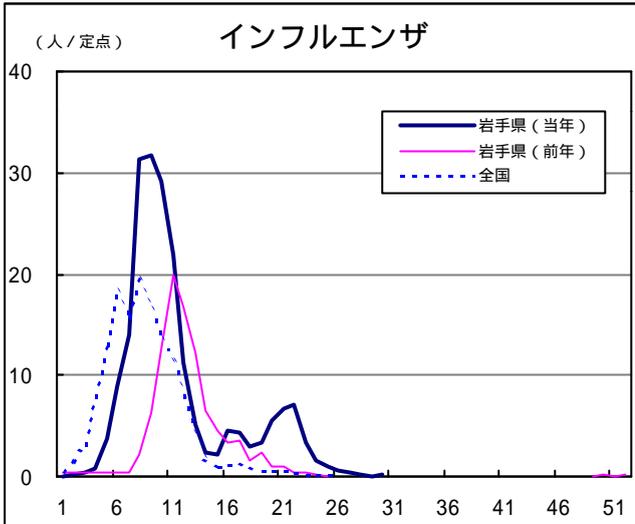
Q & A

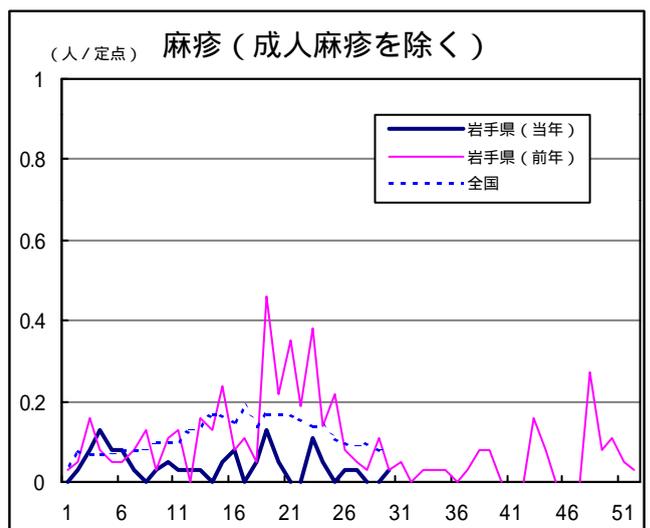
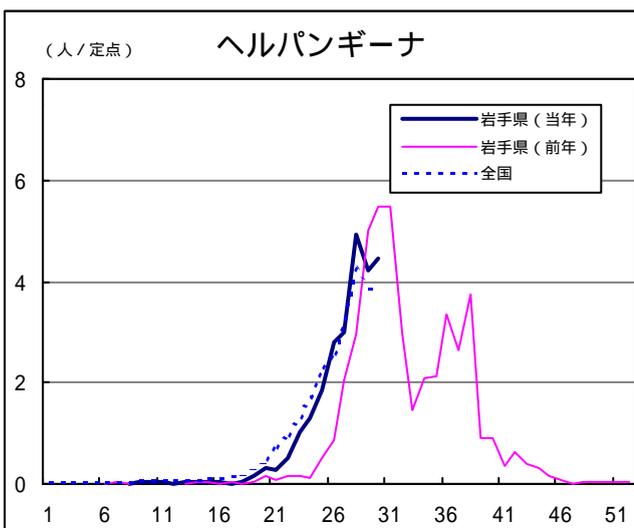
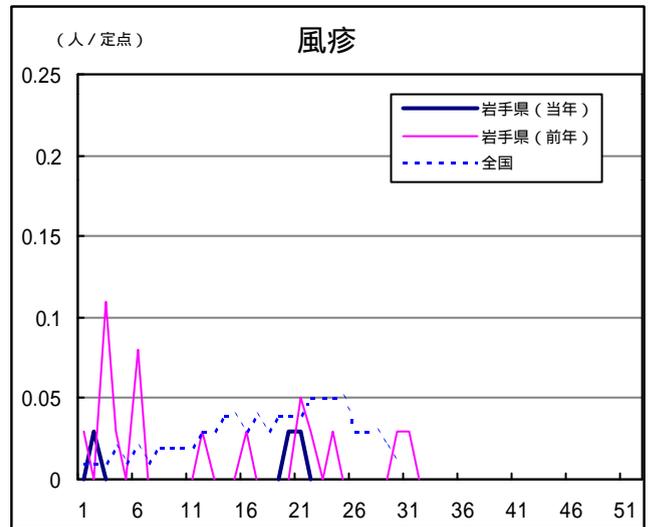
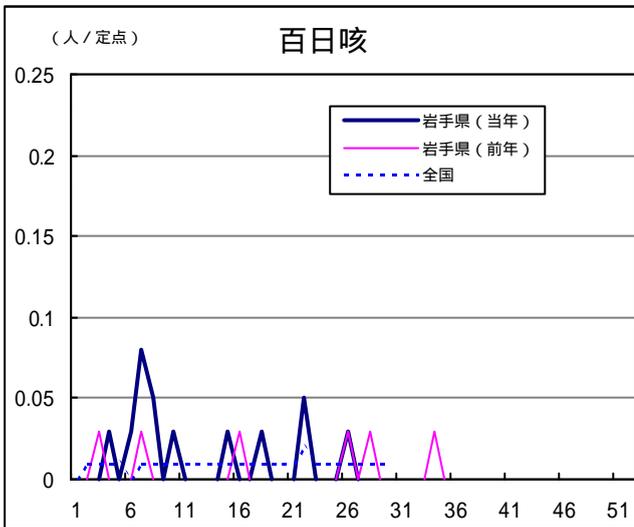
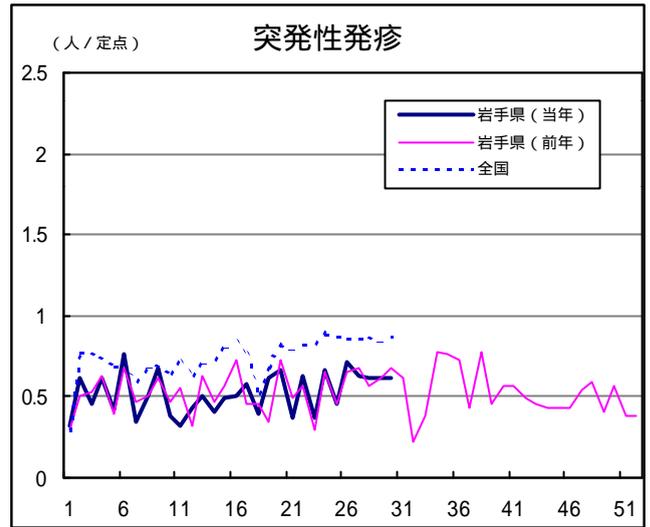
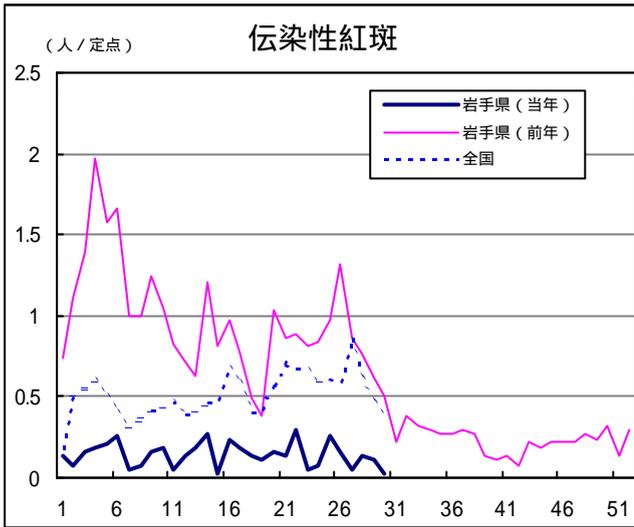
読者の皆様からのご質問をお受けしております。

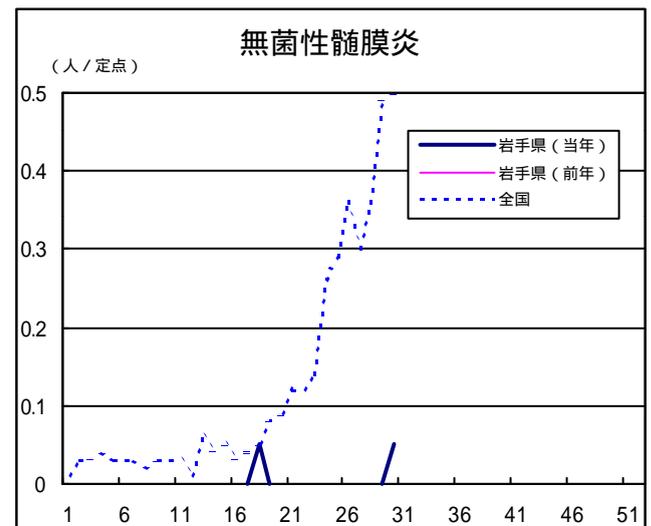
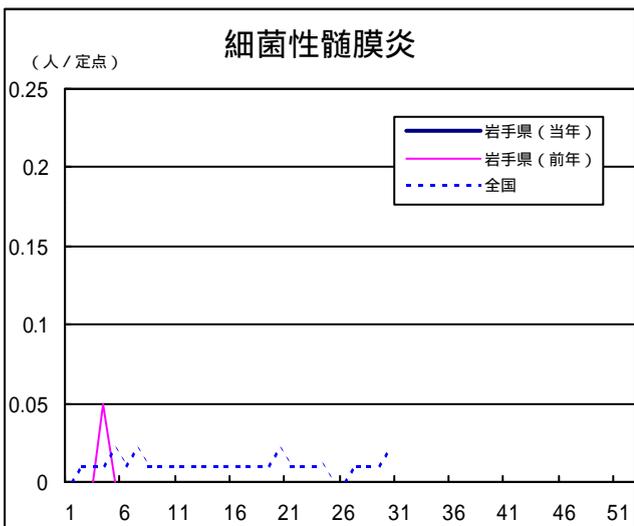
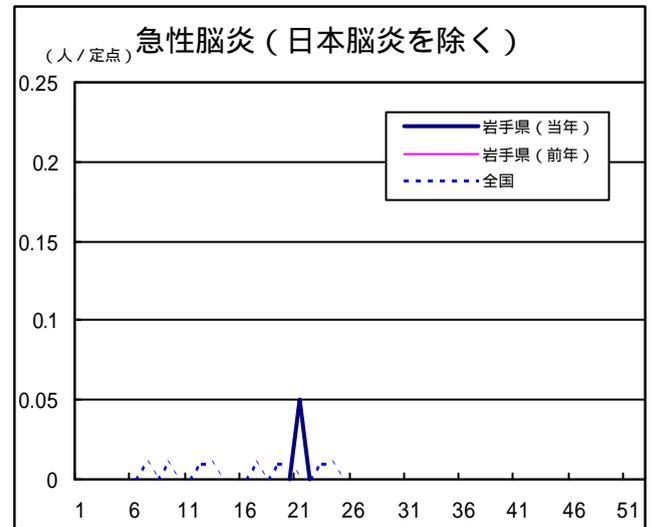
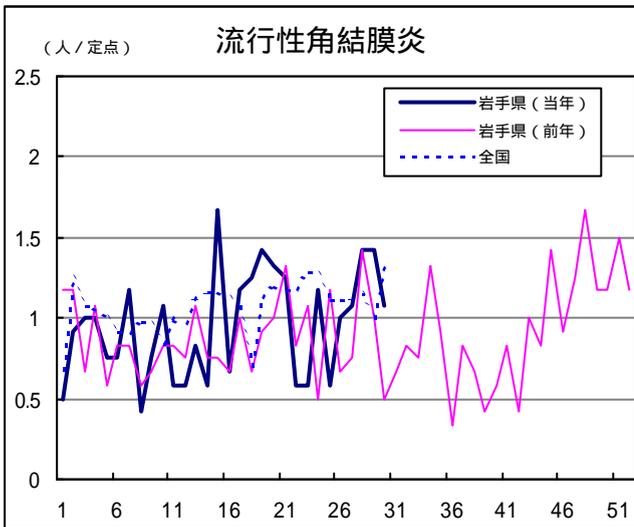
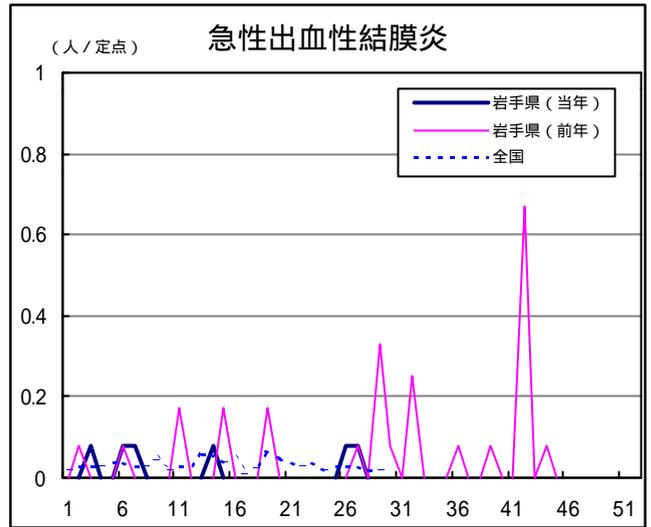
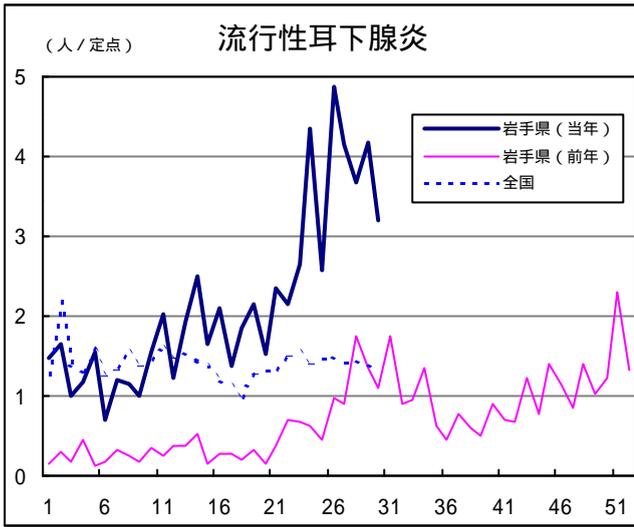
お寄せいただいたご質問につきましては、この欄でお答えします。

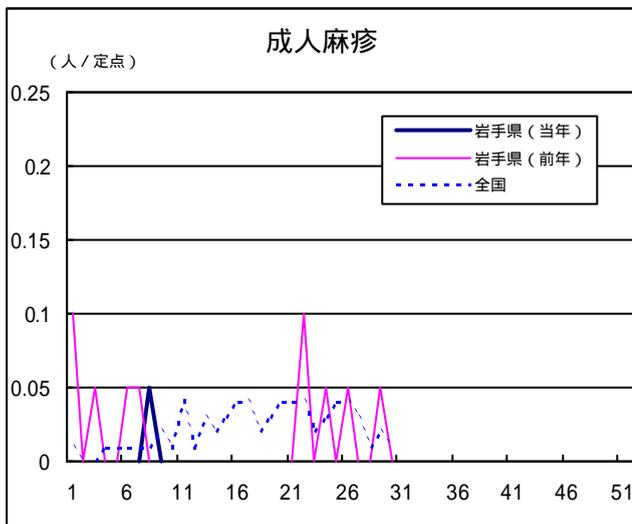
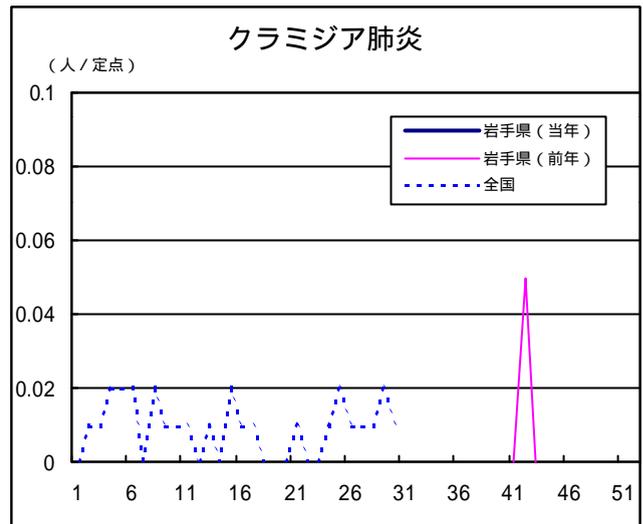
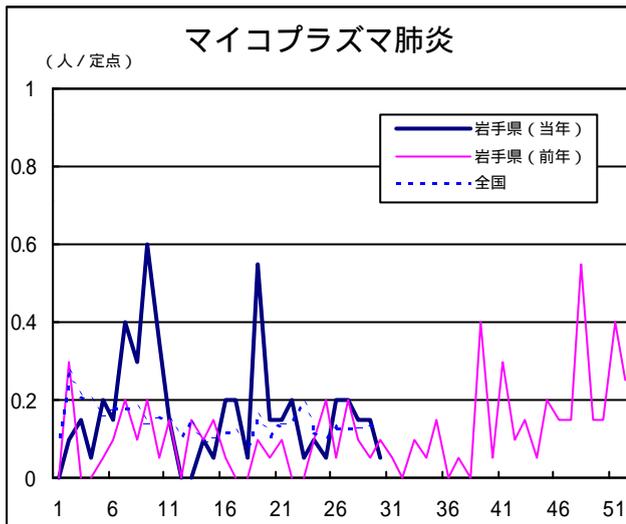
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手県感染症週報 平成14年第30週 平成14年8月2日発行

監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部保健衛生課

事務局：岩手県結核・感染症情報センター

(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

URL : <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県結核・感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>

<岩手県保健福祉部保健衛生課>